

第106期

株 主 通 信

2019年4月1日～2020年3月31日

KITZ株式会社 **キッツ**

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスに罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い感染の終息を心よりお祈り申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

キッツグループといたしましては、従業員及び関係者の皆様の感染リスクの軽減と安全確保を最優先としたうえで、事業活動を継続し、メーカーとしての供給責任を果たしてまいっている所存です。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 **堀田 康之**

エミール・ガレ
蘭文白鳥台付花瓶

制作年：1897年頃
高さ：23.7cm

ガレの故郷ロレーヌ地方に自生する野生ランをテーマにした、マルケットリー装飾による花瓶。朝霧に包まれた湖の情景を連想させる白鳥形の台に載り、ロマンチックな雰囲気です。

北澤美術館所蔵

当期の業績及び取り組み内容について
堀田社長に伺いました。

代表取締役社長 堀田 康之



当期(2019年度)の連結業績の概況

Q 当期は前期比減収となりました。

A バルブ事業及び伸銅品事業ともに減収

当期の連結売上高は、前期比95億47百万円減の1,270億90百万円となりました。バルブ事業の国内市場においては、建築設備向けを中心に市中在庫調整が想定以上に長引き、主力の青銅・黄銅製バルブの売上が減少しました。海外市場においても、米中貿易摩擦の長期化により設備投資が停滞した他、前期にあった中東向け大型プロジェクトへの納入がなくなったこともあり減収となりました。半導体製造設備向けも、市況低迷により、国内外で売上が大幅に減少したことから、バルブ事業の売上高は、前期比68億54百万円減の1,031億14百万円となりました。

伸銅品事業は、売価に影響を与える原材料相場が前期と比較して下落した他、販売量の減少もあり、前期比25億81百万円減の210億61百万円となりました。その他(サービス関連の事業)についても、前期比1億10百万円減の29億14百万円となりました。

Q 営業利益も減益となりました。

A バルブ事業が大幅減益

損益面においても、販売量減少の影響が大きく、また、新基幹システム稼働開始に伴う減価償却費の増加などもあり、バルブ事業の営業利益が前期比43億11百万円減の106億27百万円となりました。

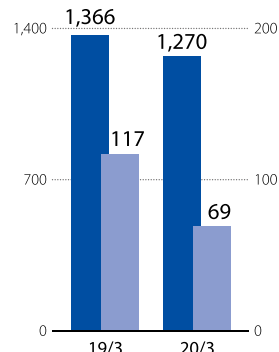
伸銅品事業は、原材料相場変動の影響に加え、新工場における量産が2019年10月より開始したことに伴い、減価償却費及び製造経費が増加し、前期比2億94百万円減となり6百万円の営業損失となりました。また、その他(サービス関連の事業)についても、前期比1億1百万円減となり11百万円の営業損失となりました。その結果、連結営業利益は前期比47億63百万円減の69億50百万円となりました。経常利益も、前期比46億42百万円減の72億41百万円となり、過去最高の業績(営業利益・経常利益)となった2018年度からは一転して厳しい結果となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上したのれん等の減損損失がなくなったことにより、前期比6億88百万円減の49億37百万円となりました。

セグメント別売上高・営業利益

(単位: 億円)

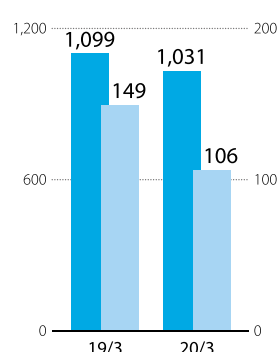
連結

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



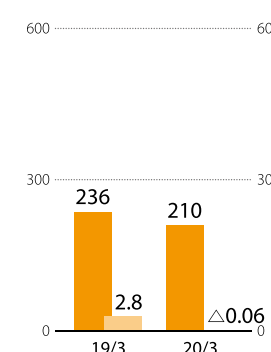
バルブ事業

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



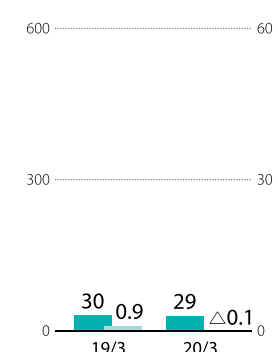
伸銅品事業

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



その他

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



※セグメント別営業利益は全社費用等消去前の数値

Q 当期中に稼働を開始した新基幹システムについて教えてください。

A グローバル連携基盤の構築と業務の標準化を目指して

当社の旧基幹システムはホストコンピュータで、使用開始から30年以上が経過しており、技術的に遅れていることに加えて開発者及び運用技術者の不足も懸念されていました。また、グローバル化や事業環境の変化に合わせて、迅速な意思決定や経営判断に活用できる基幹システムが必要不可欠となってきたことから、キッツグループの業務全般に関わるグローバル連携基盤の構築と業務の標準化を基本方針として、ERP※を基盤とした新基幹システムの開発を2015年より開始し、2019年5月に稼働を開始しました。稼働初期においては、システムトラブルやオペレーションの混乱などにより、お客様にはご迷惑をおかけしましたが、現在は収束しています。

※Enterprise Resource Planning。企業の持つ様々な資源（人財、資金、設備、資材、情報など）を統合的に管理・配分し、業務の効率化や経営の全体最適を目指すために導入・利用される統合型業務ソフトウェアのこと。

Q その他の、当期の取り組み事項を教えてください。

A 成長に向けた投資を継続

事業環境は厳しい状況で推移しましたが、中長期の成長に向けた施策を実行しました。まず、アジア地域のミドルクラス（ボリューム）ゾーンへの本格参入に向け、マレーシアの大手バルブメーカー及び販売代理店であるUnimech Group Berhad（以下、Unimech）と株式譲渡契約及び事業提携契約を締結しました。Unimechは、アセアン・中国地域を中心に幅広い販売網と調達力を持っており、また、独自ブランド（ARITA）のバルブを販売しています。キッツグループの技術力、Unimechの販売力及び両社のブランド力を融合し、シナジーを創出してまいります。

ステンレス鋼製バルブの製造を担うKITZ Corporation of Taiwanにおいても、鋳物の内製化による生産リードタイム短縮、在庫低減及び中国への一極集中によるリスクの回避を目的として、ロストワックス精密鋳物工場を新たに建設しました。

各種フィルターを扱う株式会社キッツマイクロフィルターにお



KITZ Corporation of Taiwanの新工場

いては、半導体関連市場の拡大を受けて工業用フィルターのポリフィックスの売上が好調を維持しています。IoT、AI、ロボットに代表される半導体関連市場は今後の成長が見込まれ、さらなる需要の拡大が期待できることから、生産能力拡大のため、キッツ茅野工場の敷地内に新工場を建設しました。



キッツマイクロフィルターの新工場

バルブのメンテナンスを担当する株式会社キッツエンジニアリングサービスでは、名古屋サービスセンターを新たに建設した建屋に移転しました。近年、国内の既設プラントにおいては、改修・ロングライフ化が推進されており、メンテナンスに対する意識が高まっています。バルブの製造・販売だけでなく、修理や点検、整備など、製品のライフサイクルを視野に入れた事業展開を加速させてまいります。

また、伸銅品事業を担う株式会社キッツメタルワークスでは、生産性及び利益率改善のため、老朽化した機械設備の更新及びラインの統廃合を決定し、キッツグループが伸銅品事業を開始して以来、最大規模となる設備投資を実施し、2019年10月に新設備が本格稼働を開始しました。

2019年度実績

	2018年度実績	2019年度実績
売上高	▶ 1,366億円	▶ 1,270億円
営業利益	▶ 117億円	▶ 69億円
EBITDA※1	▶ 168億円	▶ 137億円
ROE※2	▶ 7.4%	▶ 6.5%
EPS※3	▶ 58.50円	▶ 53.06円

※1 償却前営業利益（営業利益＋減価償却費・のれん償却費）

※2 自己資本当期純利益率

※3 1株当たり当期純利益

セグメント別売上高

バルブ事業	▶ 1,099億円	▶ 1,031億円
伸銅品事業	▶ 236億円	▶ 210億円
その他	▶ 30億円	▶ 29億円

セグメント別営業利益

バルブ事業	▶ 149億円	▶ 106億円
伸銅品事業	▶ 2.8億円	▶ △0.06億円
その他	▶ 0.9億円	▶ △0.1億円

今期(2020年度)について

Q 決算期の変更を発表されました。

**A グローバル企業としての経営体制を
より一層強化**

当社は、本年2月17日開催の取締役会において、2020年6月29日に開催予定の第106回定時株主総会において「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、決算期(事業年度末日)を12月に変更することを決議しました。当社及び国内連結子会社の決算期は3月ですが、海外連結子会社のほとんどは決算期が12月となっています。決算期を12月に統一することにより、グループ全体の業績を適時的確に把握し、開示することが可能となります。また、これにより経営の透明性を向上させ、グローバル企業としての経営体制をより一層強化してまいります。株主の皆様のご理解とご賛同をお願いいたします(6ページのトピックスをご参照ください)。

Q 非財務分野への取り組みについて教えてください。

A サステナビリティ推進室を新設

キッツグループは、ESG^{*1}の視点を経営に反映させることにより、中長期的かつ持続的な成長を実現するとともに、地球環境及び社会が抱える様々な課題に取り組んでいます。2019年7月にはサステナビリティ推進室を設置し、ESG/SDGs^{*2}に対する取り組みをより強力に進めていく体制を整えました。2020年3月には、サステナビリティ経営を進めていくうえで重要となるコミットメント及びスローガンを策定、また、ESGへの取り組み項目と関連性の強いSDGsの目標を見える化しました。

※1 Environment(環境)、Social(社会)、Governance(ガバナンス)のこと。
※2 国際連合により採択された「持続可能な開発目標」のこと。

Q 今期の業績見通しについて教えてください。

**A 新型コロナウイルスの影響により、業績予想の
算定は困難**

新型コロナウイルスの感染拡大により、キッツグループを取り巻く経営環境は大きく変化しています。今後の状況によっては、市場の状況が一変することも十分に考えられ、現時点では適正かつ合理的な通期業績を見通すことは非常に困難であることから、2020年3月期決算の発表時においては、今期の業績予想の開示を見合わせることにしました。業績予想の開示が可能となった時点で、速やかに公表したいと考えています。不透明な状況の中、経費削減、設備投資計画の見直しを行うとともに、手元資金を積み増す他、棚卸資産の削減等によりキャッシュ・フローを確保してまいります。

**Q 最後に、
株主の皆様にメッセージをお願いします。**

A メーカーとしての供給責任を果たす

連結配当性向につきましては、これまで、親会社株主に帰属する当期純利益の25%前後を望ましい水準としていましたが、当期より10%引き上げて35%前後とし、配当による株主還元の一層の充実を図ることとしました。当期末の配当金につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。中間配当として10円の配当を実施しておりますので、年間配当額は20円となり、連結配当性向は37.7%となりました。また、自己株式の取得については、株式市場や株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討することとしています。当期においては、取締役会の決議に基づき、283万93百株の自己株式を取得しました。これにより、連結総還元性向は80.2%となりました。なお、今期の配当金は、通期業績を見通すことが困難であるため、未定とさせていただきます。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に深刻な影響を及ぼしており、完全に終息するまでには数年かかるとの見方もあります。キッツグループといたしましては、社員及び関係者の皆様の感染リスクの軽減と安全確保を最優先としたうえで、事業活動を継続し、メーカーとしての供給責任を果たしてまいります。

キッツは、1951年に株式会社北澤製作所としてスタートし、2021年に創業70周年の節目を迎えます。創業当時の社員は12名でしたが、今日ではグループで5,000名を超えるまでに成長しました。これまでの歴史を大切に守りつつ、さらに成長を続け、新たな歴史を作ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

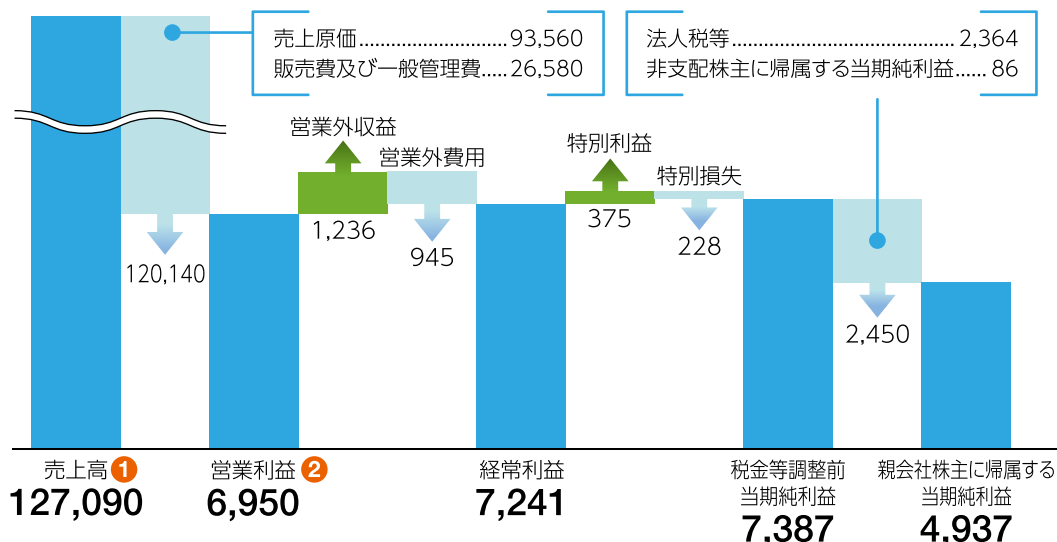


業績ハイライト

連結損益計算書の概要

当期 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位: 百万円)



Point ①

売上高

パルプ事業において、半導体製造設備向けが国内外ともに大幅減収となった他、国内建築設備向けを中心に市中在庫の積み上がりを受け、販売量が減少しました。伸銅品事業においても、原材料相場の変動に伴う売価の下落と販売量の減少により減収となった結果、前期比7.0%減の1,270億90百万円となりました。

Point ②

営業利益

半導体製造設備向けの大幅減収と建築設備向けの販売量減少の影響が大きく、また新基幹システムの稼働開始に伴い減価償却費が増加したことなどにより、前期比40.7%減の69億50百万円となりました。

Point ③

総資産

新型コロナウイルス対応として短期借入金により手元資金確保を行ったことから現金及び預金が増加した他、Unimechの株式取得により投資有価証券が増加したことなどにより、前期末に比べ34億5百万円増加しました。

Point ④

負債

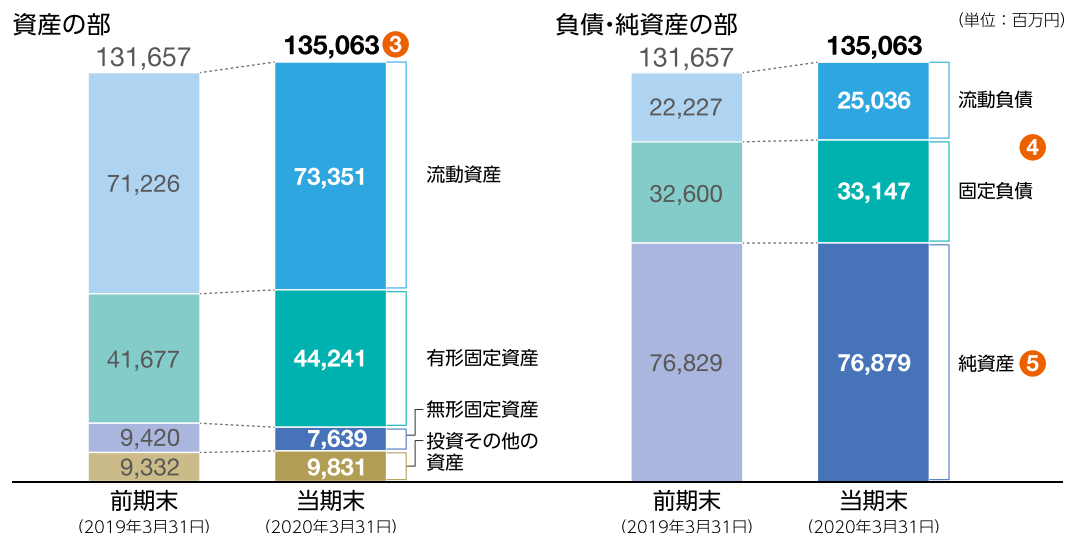
未払法人税の減少等がありましたが、有利子負債の増加に加え、「リース」会計基準の適用に伴う固定負債の「その他」の増加もあり、前期末に比べ33億56百万円増加しました。

Point ⑤

純資産

配当金の支払い、自己株式の取得の他、その他有価証券評価差額金の減少等はありませんでしたが、親会社株主に帰属する当期純利益49億37百万円の計上により、前期末に比べ49百万円増加しました。

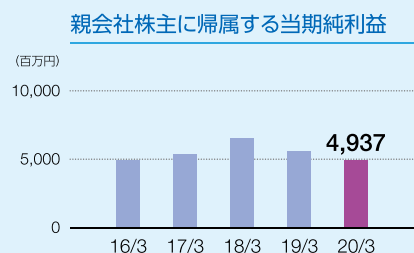
連結貸借対照表の概要



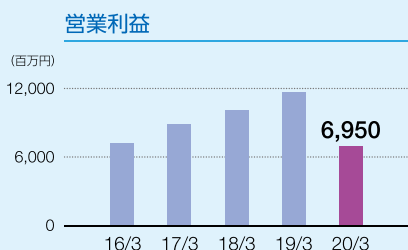
主要連結財務指標の推移



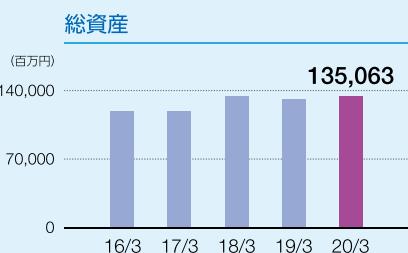
前期比 95 億 47 百万円 減



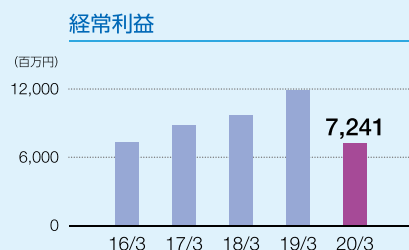
前期比 6 億 88 百万円 減



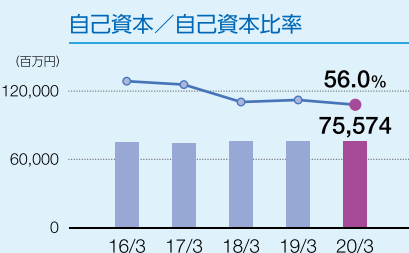
前期比 47 億 63 百万円 減



前期末比 34 億 5 百万円 増



前期比 46 億 42 百万円 減



前期末比 22 百万円 減
前期末比 1.4 ポイント 減

※本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

パッケージユニット型水素ステーション事業に参入

キッツは、2012年より、水素ステーション用超高压ボールバルブを製造・販売しています。また、2018年には、小型パッケージユニットを用いた水素ステーションを自家用設備として長坂工場に建設し、約2年にわたり、運用の実証及び技術の蓄積を行ってきました。その成果を踏まえ、水素ステーションに必要な主要機器を集約した独自のパッケージユニットを開発、2020年4月より販売を開始しました。

本製品は、世界で唯一となる100MPaクラスの水素ガスを封止させることが可能であり、大流量の制御が可能なボールバルブを全面的に採用することにより、配管効率の向上とコンパクト化を実現しています。

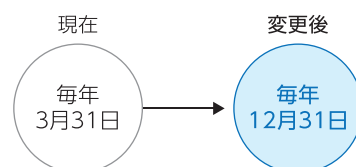


300Nm³/h 商用スタンダードパッケージユニット
(イラスト)

決算期の変更について

キッツは、海外連結子会社と決算期を統一し、グローバル企業としての経営体制をより一層強化するため、6月29日に開催予定の第106回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件として、2020年度から決算期(事業年度末日)を3月から12月に変更することといたしました。承認していただいた場合には、2020年度は9ヵ月の変則決算となります。

● 決算期変更の内容



キッツメタルワークス 鉛フリー黄銅棒「エコブラス®」のライセンス契約を締結

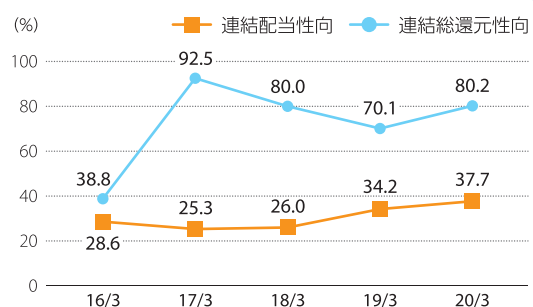
2019年11月、キッツグループの伸銅品事業を担う株式会社キッツメタルワークスは、国内の伸銅品メーカーとして最大手の三菱伸銅株式会社(現・三菱マテリアル株式会社)と鉛フリー黄銅棒「エコブラス®」シリーズのライセンス契約を締結しました。

自社製品に加え、国際規格に登録されているグローバル材料である「エコブラス®」の生産・販売を行うことにより、お客様の環境対応製品へのニーズに、より一層お応えしてまいります。



自己株式の取得

2019年度においては、取締役会の決議に基づき、2019年4月から6月にかけて239万98百株の、また、2020年3月に43万95百株の自己株式(合計283万93百株)を取得しています。これにより、連結総還元性向は80.2%となりました。



個人投資家向け会社説明会を実施

2019年12月、東京都内で開催されたSMBC日興証券と日興アイ・アールが共同運営する「SMBC日興 IRフォーラム 2019」において、個人投資家向け会社説明会を実施しました。キッツはこのイベントに継続して参加しており、今年で5回目となります。

その他、大手証券会社の支店でも説明会を開催するなど、積極的に個人投資家との対話の機会を設けています。



Metalúrgica Golden Art's Ltda.がISO14001認証を取得

ブラジルでバルブの製造・販売を行っているMetalúrgica Golden Art's Ltda.は、2019年12月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得しました。

キッツグループの環境中期計画では、グローバルな環境マネジメント体制の確立に取り組むこととしており、国内外全ての生産拠点でISO14001認証を取得することを目標にしています。



株主優待制度拡充のお知らせ

キッツは、株主様の日頃のご支援に感謝するとともに、株主様との関係をより一層大切にしていきたいため、株主優待制度を拡充いたしました。2020年3月31日時点で100株以上保有されている株主様を対象としています（これまでは1,000株以上）。

NEW

100株以上

①グループ会社優待券

キッツグループの商品・サービスより、家庭用浄水器及びホテルの各種優待券をご用意しています。

また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈いたします。



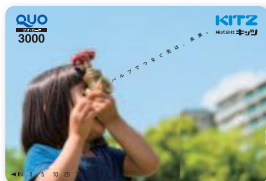
株式会社キッツマイクロフィルター
家庭用浄水器「ピュリフリー」

1,000株以上（これまでの株主優待内容から変更はありません）

①グループ会社優待券

上記に同じ

②オリジナルクオカード



1,000株以上	1,000円券 1枚
2,000株以上	2,000円券 1枚
3,000株以上	3,000円券 1枚

③北澤美術館

ガラス工芸品カレンダー 1部



2020年版カレンダー

●長期保有株主優待

3月31日現在、5年以上かつ1,000株以上保有されている株主様につきましては、①～③の優待に加え、北澤美術館 日本画カレンダーの大判サイズまたは卓上サイズ、日本赤十字社への寄付（1,000円）よりいずれか1点をお選びいただけます。

●新規株主様への優待

9月30日までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー1部をお送りいたします。

株主優待制度による寄付のご報告

2019年3月31日現在の株主様を対象とした株主優待において、「日本赤十字社への寄付」をお選びいただいた株主様からの義援金につきましては、下記の通り寄付いたしましたのでご報告申し上げます。

・寄付金額:478,000円 ・寄付日:2019年12月27日

企業PRキャラクター「きくまる」のご紹介

企業イメージ向上のために作られた、「菊ハndl」をモチーフとしたキャラクター「きくまる」。これまで、展示会のブースや販売促進ツール等で使用してきましたが、今後、企業PRキャラクターとして、各種プロモーションの場で積極的に活用してまいります。

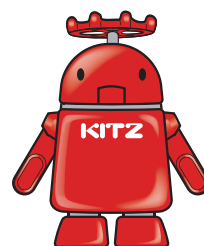
きくまるプロフィール

生年月日:2007年10月3日

性別:なし

性格:誠実で正直者。行動的でチャレンジ精神にあふれている。時々、おちょこちよいな一面も。

キッツの優秀な営業マンとして、日本各地・世界各国を忙しく飛び回る毎日です。



株式の状況

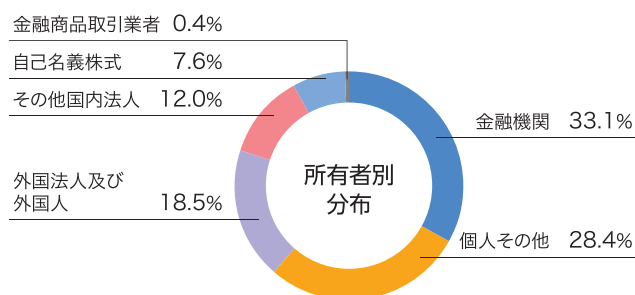
- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 92,731,557株

(注) 上記の発行済株式の総数には、当社が2020年3月31日に保有する自己株式7,664,954株を含めておりません。

- 株主数 10,211名
- 大株主(上位10位)

株主名	当社への出資状況 持株数(千株) 持株比率(%)	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	8,881	9.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,374	5.80
北沢会持株会	4,603	4.96
日本生命保険相互会社	4,303	4.64
住友生命保険相互会社	3,420	3.69
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.68
キッツ取引先持株会	3,065	3.31
株式会社三井住友銀行	2,553	2.75
キッツ従業員持株会	1,868	2.01
セコム損害保険株式会社	1,702	1.84

- (注) 1. 当社は、2020年3月31日現在、自己株式7,664千株を保有しており、上記大株主から除外しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。なお、当社は、「役員報酬BIP信託」を採用しており、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が当社株式509千株を保有しておりますが、当該自己株式には含めておりません。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 8,881千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 5,374千株
3. 住友生命保険相互会社の持株数には、変額口2千株及び特別勘定9千株を含んでおります。



期末配当金のお支払について

2020年5月27日開催の当社取締役会におきまして、第106期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

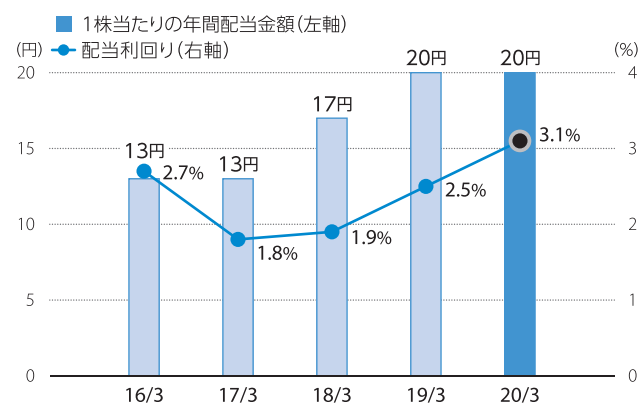
期末配当金:1株当たり 金10円

効力発生日ならびに支払開始日:2020年6月11日(木)

同封の「第106期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2020年6月11日～2020年7月10日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第106期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、配当金を、株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけており、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要な投資額等を考慮したうえで、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。



株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 公告掲載方法 電子公告
公告掲載URL (<https://www.kitz.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要 (2020年3月31日現在)

- 商号 株式会社キッツ
- 本社 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
TEL (043)299-0111(大代表)
- 代表者 代表取締役社長 堀田 康之
- 資本金 21,207,084,670円
- 設立年月日 1951年1月26日
- 従業員数 (単体)1,327名 (連結)5,048名

ウェブサイトのご案内

企業情報の他、決算情報や財務データなどを掲載しています。



<https://www.kitz.co.jp/>

